

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号(14)

評 価 実 施 日	令和 2年 2月 18日(火)		
氏 名	所 属 等	備 考	
委 員	松浦 昭始	元県立高等学校教頭	
	村上 篤夫	企業経営者	
	野間 逸人	税理士	
	小山田 憲正	寺住職	
	吉武 美由紀	病院事務長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導について 今年度の3年生は、定員割れした学年で、今後の定員数減も心配したが、現状が維持できている。学力も維持できおり、先生方の努力と生徒の頑張りによるものと感謝する。今後も蜚雪精神など魅力発信に努め、維持、継続をお願いする。(全) (2) 部活動について 部活動での活躍も素晴らしく、生徒は文武両道を目指しよく努力していると感じる。全国大会で活躍した生徒の進路は確保できているのか。俳句甲子園では、本校と分校が誇りを持って競い合うなど感動的であった。合同練習などの交流はあるのか。(全・定・分) (3) 教育相談について 教育相談の充実についてお願いしたい。悩みを抱えていても相談するところがないと感じる生徒もいるのではないか。そのような生徒に、何とか手を差し伸べ、学校に気持ちよく通学できる体制や人があればと考える。(全・定・分) 2 学校運営への提言 (1) 生徒募集について 伯方分校の生徒も参加しての全国募集に向けての取組は、素晴らしいと感じる。現実化するよう、さらに良さがアピールできるとよい。寮などの受け入れ態勢は整っているのか。(分) (2) 働き方改革について 先生方の教育に対する熱意には感服するところだが、働き方改革は実施されているのか。(全・定・分) 3 その他 (1) 教職員への提言 夢を持つことで人生に対する意識の持ち方が変わる。先生方には、若者に夢を与える生き方を期待する。(全・定・分)	・3年生においては、入学当初より学力差が課題であったが、習熟度学習を取り入れるなど、全体としての学力向上に努め、生徒の努力もあり成果が見られた。大学入試本番に向け全力を尽せるよう支援していきたい。 ・1・2年生については、新入試の外部試験の導入中止など戸惑いもあったが、先を見据えて、オンラインスピーキング等、継続して対策を行いたい。 ・全国大会で活躍した生徒の中には、得意分野を生かした進路が確定している生徒もいる。 ・本校と分校との交流は、今のところ行われていないが、今後、顧問同士が相談し、生徒のさらなる切磋琢磨につながるよう可能であれば交流も考えたい。 ・定時制では、部活動の充実が登校刺激になっている生徒もおりプラスになっている。 ・生徒の悩みについては、担任や学年主任を中心に手厚く対応している。はっきりとした原因があればよいが、分からないこともある。スクールライフアドバイザーの先生にも週一回来ていただき、相談に乗っていただいている。悩み解決の切り口を探る努力を継続し、解決に向けての対策を今後も講じていきたい。 ・県の「えひめほっとLINE」や「いじめ相談ダイヤル」なども、定期的に資料を配布して紹介している。今後も周知に努めたい。 ・地元の旅館に寮として協力してもらうことになった。来年度から受け入れ可能で、朝夕の食事付きである。昼は給食で対応できる。生徒確保に向け、情報発信など継続して努力したい。 ・部活動の平日の終了時間や休日の活動時間の上限を明確にし、生徒の学習時間の確保と教員の負担減を図っている。 ・教職員一丸となって努力したい。